

研究構想図

教育目標

【新宿区教育目標】

- 広い視野と、自らを律し互いを認め、思いやりの心をもつ人
- 地域の一員として、規範意識や公共の精神に基づき、社会の形成に進んで参画する人
- 個性や創造力が豊かで、自ら学び、考え、行動する人

【落合第六小学校教育目標】

- ☆明るい子 人格を尊重し合い、社会性豊かな子ども
- ☆たくましい子 心身共に健康で、ねばり強く行動する子ども
- ☆考える子 ものごとを深く考え、主体的に行動する子ども

課題

【今日的な課題】

予測不能な未来
変化が大きい社会

【本校の課題】

児童が自分事として課題に向き合う点、主体的に課題を解決するという点で、難しい場面が見られる。

教育課程特例

「みらい科」の創設

社会と連携・協働しながら未来の創り手となるために必要な資質・能力を育む教科

研究主題

楽しみに思える未来を創造する児童の育成
～「みらい科」「教科学習」を通して～

目指す児童像

自ら考え、判断し、行動できる児童



研究内容

教科学習

+

みらい科

教科コンバイン型 プログラム

教科を複合することで、現代
社会の課題をより深く学ぶ

体験型・縦割り型 プログラム

縦割り創造活動を通して、異学
年と地域の自然環境・歴史・人
などに関わり学ぶ

「みらい科」「教科学習」において大切にしたい3つの研究の視点

視点	教師が共通で取り組む手立て
自ら活動に取り組むために 学びに向かう力・人間性等	<ul style="list-style-type: none"> ・実生活と関わりのあるテーマの設定 ・課題や解決方法の選択ができる学習計画 ・何度もやり直しができる場の設定
(自分で) 考え・判断できる ために 思考力・判断力・表現力等	<ul style="list-style-type: none"> ・思考・判断のための素地の醸成 ・成果と課題の可視化 ・ふりかえりの工夫
(自分らしく) 行動(表現) できるために 個別の知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・個性が表現・発揮できる場の設定 ・既習・未習をきちんと踏まえて系統立てた計画